

そよげ風

山口市立小郡小学校学校だより 2月号

平成24年度No.10 (通算39号)

平成25年1月25日

開校140周年に思う

校長 藤田 辰夫

明治5年(1872年)8月3日、時の明治政府による「邑(村)に不学の戸なく、家に不学の人なからしめんことを・・・」の大理想を掲げて学制が公布されました。そのわずか5ヶ月後の、明治6年(1873年)1月13日に、わが小郡小学校は開校しました。

当時は、「南吉敷第一小学」として第一病院前の信光寺を教場にして創立されました。11月に「下郷小学」と改称。さらに、明治8年に「榎野小学校」に改称し、明治9年(1876年)に、現ふれあいセンター前の当時町役場があった付近に移転します。そして、小郡小学校と改称するのは明治41年(1908年)、さらに、現在地に校舎が完工したのは明治45年(1912年)の3月1日です。

このような幾多の歴史を経て、今年、平成25年(2013年)1月13日で開校140周年を迎えました。卒業生数は16,500名余り、最多児童数は、上郷小学校を分離する直前の昭和55年(1980年)の1,815名です。

開校110周年記念誌には、「校舎は少し古いけれど、ピッカと光る学校にしたいものだ・・・。」とあり、「ピッカと光るものすなわち校風は、長い歴史と伝統の中から培われるものであり、日ごろの教育活動の積み重ねのなかから育つものである。」と綴(つづ)られています。また、プールの完成を受け、校舎改築事業完成記念として行われた130周年史には、「No.1から Only One(競争から個性尊重に)の教育の推進と、教育の不易(学力と真心)の教育を子ども一人ひとりに・・・。」という文言が見えます。

学校の伝統や校風を具体的に言い表すのは難しいことですが、140周年という節目の年を機会に、少しでも目に見える、形あるものにするよう努力をしていかなければならないと感じています。かの有名な物理学者のアルベルト・アインシュタインは、50年前に現代を予言したような次の言葉を残しています。

学校は、伝統という財産を次世代に伝える最も重要な手段です。そしてそれは、昔より今のほうがはるかに大切になっています。というのは、現代社会では、伝統と教育の担い手としての家族の役割が弱くなってきているからです。

したがって、私たちの社会が健全に維持されるためには、学校の役割が昔に比べてますます大きくなっています。

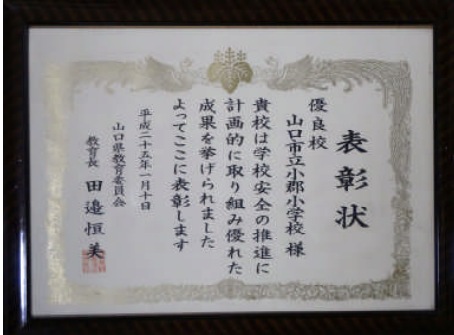
伝統を受け継ぎ、さらにそれを乗り越えていくべく、全教職員が心を合わせ、また新たな小郡小学校の歴史を刻んでいきたいと考えています。



現存するかつての正門(現東門)

最近の行事から

「山口県学校安全」優良校を受賞



1月10日(木)、山口県庁で、「山口県学校安全」優良校の表彰式がありました。学校安全の推進に計画的に取り組み、優れた成果を挙げた学校に贈られる賞です。

学校安全は、生活安全と交通安全と災害安全(防災安全)の3つの領域から構成され、安全に配慮した生活が送られていることが評価されたものです。

本校では、安全に留意した日々の集団登校や下校、ふれ愛見守り隊の皆さんによるご指導、定期的な避難訓練の実施、学友区児童会や地区別集団下校の実施等、子どもたちの安全を守る活動が実施されています。

今後は、さらに、日常生活において、常に安全に関する問題意識を醸成していく努力をしていきたいと思えます。

PTAから掃除機の寄贈

右の写真のような掃除機を、「ふれあいフェスタ」収益金の一部を使って、小郡小学校PTAから寄贈していただきました。

業務用の掃除機ですので、構造がしっかりしており、壊れにくい物です。また、すき間用ノズルも付いており、狭い所まできれいにすることができます。

学校の性格上、牛乳瓶が割れることもあります。片付けは慎重を期して行いますが、この掃除機であれば、瞬時に粉々になったガラスを吸入できそうです。

一つは本館階段下倉庫に、もう一つは北校舎1階西側に置いています。ていねいに扱うことによって、末永く使用していきたいと思えます。PTAの皆様、ありがとうございました。



人権教育参観日

人権教育参観日・講演会を1月17日(木)に開催しました。

多数の保護者の皆様のご参観、ありがとうございました。

5校時の授業は次のようなねらいで実施しました。

- 周りの人たちと仲良くするためには、どのような言葉 や行動が大切か考える。
- 友達になったり、仲良くなるためには、相手の名前を 覚えたり、関心をもったりすることの大切さについて 考える。
- 友達の気持ちを思いやり、身近にいる友達と仲良く活動し、助け合うことの大切さを考える。
- 誰に対しても、公平な態度で接することの大切さについて考える。
- 自分の都合や、好き嫌いにとらわれず、誰に対しても公平に接することや、正しいことを主張することの大切さについて話し合いをしながら考える。
- いじめの構造について考える。

以上のような学習を通して、みんなで助け合うことや公平な態度で接することの大切さや、相手の立場に立つことの重要性などを学ぶことができました。普段何気なく使っている言葉や自分の行動を振り返るよい機会となりました。ご参観ありがとうございました。

教育講演会

1月17日(木)15時から山口県立大学 国際化推進室 教授 シャルコフ・ロバート先生による講演会を行いました。

日本の座席に上座というものがあることを初めて知ったという、ご自分の失敗談もお話の中に入れながら、文化の違いが生活習慣の違いを生んでいるというお話をされました。

また、ある言葉から連想される言葉には国民性があること。お正月という言葉から、日本人は、お年玉やもち、ぞうに、箱根、初日の出などを連想するが、アメリカ人にそのような発想はありません。

以上のようなことから、つぎのようにまとめられました。

- 今後ますます介護や福祉の分野に外国人が日本に入ってきます。日本人なら日本の文化について誇りをもって語る(説明する)ことのできる人になってほしい。
- 自分にとっての常識は、他の人にとっては常識でないこともあること。
- ぜひ日本の文化をしっかりと勉強して、発信してほしい。
- 文化の違いを受け入れられる人になってほしい。
- 自国の文化を次世代に伝えてほしい、等。ユーモアたっぷりのお話に時間を忘れたひとときとなりました。企画・運営にご尽力いただきましたPTA生活教養部のみなさんありがとうございました。



避難訓練

1月18日(金)の2校時、地震を想定した避難訓練を実施しました。地震が発生しても、安全にかつ迅速に避難することを目的としています。天候不良のため、避難場所を運動場から体育館へ変更しました。

訓練は、緊急地震速報を聞く→全校非常放送により全員体育館への避難

を開始する→119番通報をする→運動場への避難完了→講評(校長)→各教室でDVD「津波からにげる」を視聴し、津波の時に留意すること等を学習する、の流れで行いました。

地震が発生したときは、その後、津波が発生することもあること、津波の被害を受けないためには、できるだけ高い所へ避難すること、自分から進んで避難することが大切である等のことを学習しました。

租税教室(6年生) 1月21日(月)

もしも、税金がなかったら私たちの生活はどのように変わってしまうのか、税金はいったい何に使われているのか、などの疑問に講師の先生が的確に答えられていました。6年生の感想をここに紹介いたします。「私はできれば税金を払いたくないと思っていました。ですが、税金をなくしてしまったら、公園がなくなったり、警察に頼むのもいろいろとお金がかかったりしていたので、税金はやはりあった方がよいと思いました。きちんと税金を納めなければいけないことが分かりました。」税金の意義を考える貴重な時間となりました。



2月の行事予定

日	曜	行 事 等
1	金	小郡中学校進学説明会・6年懇談会（本校）
5	火	全校朝会 A L T 来校 代表委員会
6	水	学友区児童会（5校時） 全校地区別下校
7	木	給食集金日 3年七輪体験
11	月	建国記念の日
12	火	A L T 来校 読み聞かせ（1-2、2-1）
14	木	学年集金日
18	月	委員会活動
19	火	入学児童就学説明会（受付7:40～8:00） A L T 来校
21	木	スクールカウンセラー来校 参観日（全校） 学級懇談会（6年除く）
22	金	読み聞かせ（4年）
25	月	クラブ活動
26	火	A L T 来校 学校運営協議会 読み聞かせ（2-2、2-3）
28	木	全校計算大会

3月の行事予定

日	曜	行 事 等
3	日	吹奏楽部スプリングコンサート
4	月	全校漢字大会
5	火	A L T 来校 6年生を送る会
7	木	集金日（給食・学年）
8	金	3年お別れ遠足 学校保健委員会
12	火	A L T 来校
19	火	卒業証書授与式
20	水	春分の日
22	金	A L T 来校 小郡中学校仮入学
26	火	修了式
27	水	学年末・学年始め休業開始
29	金	離任式 お別れ式
4月の行事予定		
8	月	始業式
9	火	入学式 2～6年給食開始

6年生が小郡中学校を見学(1月22日<火>)



小学校から中学校へのなめらかな接続をめざして、6年生を対象とした小郡中学校見学会が開催されました。

初めに、小郡中学校 角田教頭先生から、4月から始まる中学校生活への不安を解消する機会としてほしい、中学校への夢や希望をもつ機会としてほしい、というお話がありました。小郡中学校の先生方を先導として、授業参観をしました。子どもたちは興味津々、初めての中学校の授業を体感することができました。

授業参観の後は、生徒会役員による小郡中学校の紹介がありました。小郡中学校が、一つにまとまるのは、特に、運動会と文化祭。運動会応援団の気持ちは高いこと、また、文化祭では、合唱コンクールがとても盛り上がること等のお話がありました。「行事を成功させるには、日々の生活が大切であること」、「学校行事については、先生方と生徒がともに取り組んでいる」、という役員からのお話もありました。

最後に、部活動を見学しました。全部で23の部活動を見学しました。力強い小郡中学校の生徒の姿は、小学生にとっては衝撃となったことでしょう。

小郡中学校の先生方、そして、生徒の皆さん、ていねいな学校紹介をありがとうございました。